



無機有機ハイブリット塗料

# SPネオセラミ/SPネオ無機シリーズ

SPネオセラミコート1000/遮熱(水性)

SPネオ無機コートⅡ/遮熱(弱溶剤)

SPネオ無機ルーフコートⅡ/遮熱(弱溶剤)

Inorganic - organic  
Hybrid Coating

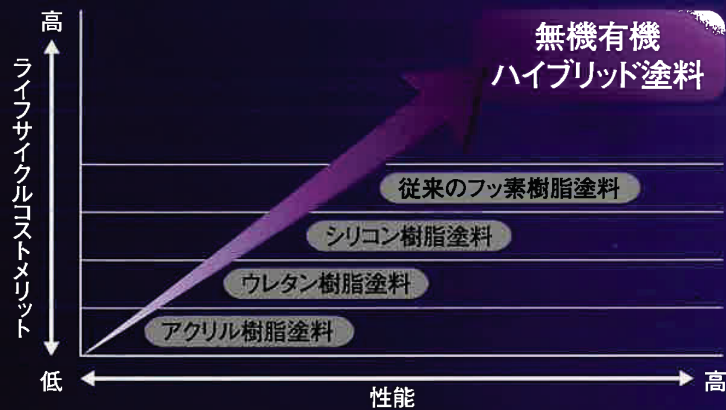
「無機+4フッ化フッ素」の新次元

# 次世代の樹脂塗料へ。

## その頂点—SPネオセラミ/SPネオ無機シリーズ

最も耐候性に優れる無機成分「オルガノポリシロキサン」と  
4フッ化フッ素の融合により生まれた、  
次世代の塗料が「SPネオセラミ/SPネオ無機シリーズ」です。  
耐候性や耐汚染性を高めながら、フレキシブルで使いやすさも向上。  
ハイグレード塗料の新基準の登場です。

### 今までのフッ素塗料を越える、超高性能塗料。



<b>無機</b> 主に、鉱物など、 石油以外由来製品	<b>有機</b> 主に、 石油由来製品
 磁器タイル      ガラス	 プラスチック      タイヤ
・耐候性 (紫外線に強い) ・耐熱・耐寒性、汚れにくい、燃えない	・柔軟性、加工性 (加工しやすい) ・接着性 (接着しやすい)
良いとこ取り相乗効果	
<b>無機有機ハイブリッド塗料</b>	

### 宮古島の苛酷な環境で実証実験を実施

本州の3倍以上の促進率をもち、日本一過酷な環境と言われる沖縄県宮古島で実証実験を行っているSPネオセラミ/SPネオ無機。強い紫外線、雨風に野ざらしの状態でも9年が経過した今でも高い光沢値と低い白亜化度が測定されており、真に優れた塗料であることが実証されております。



# 「無機+4フッ化フッ素」が変えた

標準 塗回数	塗布量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	仕当面積 (m <sup>2</sup> )	希釈	塗装間隔 (20℃)	可使時間 (h)	内装制限 (NSK)	規格・備考
1	0.15 ~ 0.18	97 (16kg) 48 (6kg)	塗料用シンナー 0 ~ 10%	4時間以上7日以内 12時間以上7日以内	夏季: 2以内 冬期: 6以内 春秋季: 4以内	F☆☆☆☆	第4類第2石油類
1	0.15 ~ 0.18	97 (16kg) 48 (6kg)	塗料用シンナー 0 ~ 10%			F☆☆☆☆	
1 ~ 2	0.18 ~ 0.23	68	無希釈				
2	0.15 ~ 0.18	97 (16kg) 48 (8kg) 19 (3.2kg)	水道水 0 ~ 10%	4時間以上7日以内 最終養生24時間以上	夏季: 3以内 冬期: 8以内 春秋季: 5以内	F☆☆☆☆	非危険物
2	0.15 ~ 0.18	96 (15.6kg) 72 (12kg) 36 (6kg)	塗料用シンナー 0 ~ 10%	4時間以上7日以内 最終養生24時間以上	夏季: 3以内 冬期: 8以内 春秋季: 5以内	F☆☆☆☆	第4類第2石油類
2	0.12 ~ 0.18	96 (15.6kg) 72 (12kg) 36 (6kg)	塗料用シンナー 0 ~ 20%	16時間以上7日以内 最終養生24時間以上	夏季: 3以内 冬期: 8以内 春秋季: 5以内	-	第4類第2石油類

※艶調整品は伸張性が低下しますのでご注意ください。

### 外壁・金属塗装仕様 SPネオ無機コートII(弱溶剤)、SPネオ無機コートII遮熱(弱溶剤)

#### ■外壁 標準塗装仕様(新設・窯業系サイディングボードなどの塗替え)

工法	材料名	塗回数	塗布量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	希釈	塗装間隔 (20℃)	塗装用具	
下地調整	旧塗膜で剥れ部分、膨れ部分等はワイヤーブラシ、皮スキ等のケレン具を用いて完全に除去する。またチョーキング部分、汚れ等は高圧洗浄機等で除去し、乾燥面にする。(含水率10%以下)						
下塗	どちらか 選択	弱溶剤変性エポキシシーラー(透明、白)	1	0.08 ~ 0.13	無希釈 水道水1 ~ 5%	4時間以上7日以内 3時間以上	刷毛、ローラー、スプレー 刷毛、ローラー
		サイディング用サーフェーサー	1	0.20 ~ 0.40			
上塗	SPネオ無機コートII/遮熱	2	0.15 ~ 0.18	塗料用シンナー A 0 ~ 10%	4時間以上7日以内 最終養生24時間以上	刷毛、ローラー、スプレー	

※素地劣化が進んだ窯業系サイディングボードは、予め弱溶剤変性エポキシシーラーを増し塗り下地補強を行って下さい。○難付着サイディングの塗替えには、「難付着対応シーラー」を施工して下さい。(詳しくは、薄紙へお問い合わせ下さい。)

#### ■外壁 クリヤー標準塗装仕様(窯業系・金属系サイディングボードなどの塗替え)

工法	材料名	塗回数	塗布量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	希釈	塗装間隔 (20℃)	塗装用具
下地調整	旧塗膜で剥れ部分、膨れ部分等はワイヤーブラシ、皮スキ等のケレン具を用いて完全に除去する。またチョーキング部分、汚れ等は高圧洗浄機等で除去し、乾燥面にする。					
下塗	SPネオコートバインダー クリヤー	1	0.15 ~ 0.18	塗料用シンナー A 0 ~ 10%	12時間以上7日以内	刷毛、ローラー、スプレー
上塗	SPネオ無機コートII クリヤー	1 ~ 2	0.15 ~ 0.18	塗料用シンナー A 0 ~ 10%	4時間以上7日以内 最終養生24時間以上	刷毛、ローラー、スプレー

※施工前診断を行い、白化等級を確認のうえ、施工して下さい。※白化現象防止の為、硬化乾燥までの養生期間を十分に確保して下さい。

#### ■外壁 2コートオールインワンプロセス(窯業系・金属系サイディングボードなどの塗替え)

工法	材料名	塗回数	塗布量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	希釈	塗装間隔 (20℃)	塗装用具
下地調整	旧塗膜で剥れ部分、膨れ部分等はワイヤーブラシ、皮スキ等のケレン具を用いて完全に除去する。(金属系サイディングの旧塗膜除去部は、ケレン後、弱溶剤エポキシプライマーを補修塗りして下さい。)またチョーキング部分、汚れ等は高圧洗浄機等で除去し、乾燥面にする。					
下塗	SPネオコートバインダー(共色)	1	0.15 ~ 0.18	塗料用シンナー A 0 ~ 10%	12時間以上7日以内	刷毛、ローラー、スプレー
上塗	SPネオ無機コートII/遮熱	1	0.15 ~ 0.18	塗料用シンナー A 0 ~ 10%	4時間以上7日以内 最終養生24時間以上	刷毛、ローラー、スプレー

※素地劣化が進んだ窯業系サイディングボードは、SPネオコートバインダーを増し塗り下地補強を行って下さい。  
※2コートオールインワンは、必ず下塗にSPネオコートバインダーを使用し、SPネオ無機コートIIの塗り残しがないよう慎重に塗布して下さい。

#### ■外壁 微弾性フィラー仕様(モルタル下地:リシン、吹付けタイルなどの塗替え)

工法	材料名	塗回数	塗布量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	希釈	塗装間隔 (20℃)	塗装用具
下地調整	旧塗膜で剥れ部分、膨れ部分等はワイヤーブラシ、皮スキ等のケレン具を用いて完全に除去、除去した部分は同一模様に合わせて補修する。 またチョーキング部分、汚れ等は高圧洗浄機等で除去し、乾燥面とする。					
下塗	微弾性フィラー・微弾性フィラーエポ	1	0.2 ~ 0.4	水道水 2 ~ 5%	4時間以上3日以内 16時間以上3日以内	ウールローラー 砂骨ローラー
			0.8 ~ 1.2	水道水 0 ~ 3%		
上塗	SPネオ無機コートII/遮熱	2	0.15 ~ 0.18	塗料用シンナー A 0 ~ 10%	4時間以上7日以内 最終養生24時間以上	刷毛、ローラー、スプレー

※旧塗膜が吹付けタイル下地で、劣化の程度が少ない場合、2コートオールインワンでも塗装が可能な場合があります。  
※旧塗膜の劣化、素地劣化が顕著な場合、水性カチオンシーラー又は弱溶剤変性エポキシシーラーを増し塗り下地補強を行って下さい。

### スレート、セメント系屋根・金属屋根 遮熱仕様 SPネオ無機ルーフコートII 遮熱(弱溶剤)

#### ■屋根 標準塗装仕様(新生瓦・スレート屋根・セメント瓦など)

工法	材料名	塗回数	塗布量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	希釈	塗装間隔 (20℃)	塗装用具
下地調整	旧塗膜で剥れ部分、膨れ部分等はワイヤーブラシ、皮スキ等のケレン具を用いて完全に除去する。またチョーキング部分、汚れ等は、高圧洗浄機で除去し、乾燥面にする。					
下塗	SPネオルーフバインダー(白、共色)	1 ~ 2	0.18 ~ 0.23	無希釈	4時間以上7日以内	刷毛、ローラー、スプレー
上塗	SPネオ無機ルーフコートII 遮熱	2	0.15 ~ 0.18	塗料用シンナー A 0 ~ 20%	16時間以上7日以内 最終養生24時間以上	刷毛、ローラー、スプレー

※素地劣化が進んだ新生瓦、スレート屋根は、吸込みが止まるまでSPネオルーフバインダーの塗回数を増やして下さい。※セメント瓦は、SPネオルーフバインダーを2回以上塗布して下さい。

#### ■屋根 金属面標準仕様(銅板、トタン、鉄部などの塗替え)

工法	材料名	塗回数	塗布量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	希釈	塗装間隔 (20℃)	塗装用具
下地調整	錆や旧塗膜で剥れ部分、膨れ部分等は、ワイヤーブラシ、皮スキ等のケレン具を用いて完全に除去後、弱溶剤変性エポキシプライマーを補修塗りして下さい。 またチョーキング部分、汚れ等は、高圧洗浄機で除去し、乾燥面にする。					
下塗	弱溶剤変性エポキシプライマー(錆止:白)	1	0.13 ~ 0.15	塗料用シンナー A 0 ~ 5%	4時間以上7日以内	刷毛、ローラー、スプレー
上塗	SPネオ無機ルーフコートII 遮熱	2	0.12 ~ 0.15	塗料用シンナー A 0 ~ 20%	16時間以上7日以内 最終養生24時間以上	刷毛、ローラー、スプレー

※弱溶剤変性エポキシプライマーは、反射効率のある白色でご使用下さい。

# 製品一覧

用途	系統	材料名	色相	光沢 ※	容量 (kg)	混合比 (主剤:硬化剤)
外壁下塗 (2コートオールインワン)	弱溶剤2液 シリコンプライマー	SPネオコートバインダー	指定色・白	3分艶	16kg (14:2) 8kg (7:1)	7:1
外壁下塗 (クリアー塗装)			透明(クリアー)	艶有	16kg (14:2) 8kg (7:1)	7:1
屋根下塗 (遮熱塗装)		SPネオルーフバインダー	白・指定色	3分艶	15kg (10.5:4.5)	7:3
外壁	水性2液形 無機フッ素樹脂塗料	SPネオセラミコート1000	指定色 透明(クリアー)	艶有・5分艶・艶消	16kg (15:1) 8kg (7.5:0.5) 3.2kg (3:0.2)	15:1
		SPネオセラミコート1000遮熱	標準30色	艶有		
	弱溶剤2液形 無機フッ素樹脂塗料	SPネオ無機コートII	指定色 透明(クリアー)	艶有・5分艶・3分艶	15.6kg (13:2.6) 12kg (10:2) 6kg (5:1)	5:1
		SPネオ無機コートII遮熱	標準30色	艶有		
屋根	弱溶剤2液形 無機フッ素樹脂塗料	SPネオ無機ルーフコートII	指定色	艶有	15.6kg (13:2.6) 12kg (10:2) 6kg (5:1)	5:1
		SPネオ無機ルーフコートII遮熱	標準21色 (ブラック除く)			

# 仕様一覧

## 外壁・金属塗装仕様 SPネオセラミコート1000(水性)、SPネオセラミコート1000遮熱(水性)

### ■外壁 標準塗装仕様(新設・窯業系サイディングボードなどの塗替え)

工法	材料名	塗回数	塗布量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	希釈	塗装間隔 (20℃)	塗装用具
下地調整	旧塗膜で剥れ部分、膨れ部分等はワイヤーブラシ、皮スキ等のケレン具を用いて完全に除去する。またチョーキング部分、汚れ等は高圧洗浄機等で除去し、乾燥面にする。(含水率10%以下)					
下塗	水性カチオンシーラー(透明、白)	1	0.12~0.18	無希釈	4時間以上7日以内	刷毛、ローラー、スプレー
	サイディング用サーフェーサー	1	0.20~0.40	水道水 1~5%	3時間以上	刷毛、ローラー
上塗	SPネオセラミコート1000/遮熱	2	0.15~0.18	水道水 0~10%	4時間以上7日以内 最終養生24時間以上	刷毛、ローラー、スプレー

※素地劣化が進んだ窯業系サイディングボードは、水性カチオンシーラーを増し塗り下地補強を行って下さい。 ※難付着サイディングの塗替えには、「難付着対応シーラー」を施工して下さい。(詳しくは、落政へお問い合わせ下さい。)

### ■外壁 クリアー標準塗装仕様(窯業系・金属系サイディングボードなどの塗替え)

工法	材料名	塗回数	塗布量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	希釈	塗装間隔 (20℃)	塗装用具
下地調整	旧塗膜で剥れ部分、膨れ部分等はワイヤーブラシ、皮スキ等のケレン具を用いて完全に除去する。またチョーキング部分、汚れ等は高圧洗浄機等で除去し、乾燥面にする。					
下塗	SPネオコートバインダー クリアー	1	0.15~0.18	塗料用シンナー A 0~10%	12時間以上7日以内	刷毛、ローラー、スプレー
上塗	SPネオセラミコート1000クリアー	1~2	0.15~0.18	水道水 0~10%	4時間以上7日以内 最終養生24時間以上	刷毛、ローラー、スプレー

※施工前診断を行い、白亜化等級を確認のうえ、施工して下さい。 ※液溜り部、標準塗布量以上を一回で塗布した場合、白濁したまま乾燥しますので、刷毛で払い塗して下さい。  
※白亜化現象防止の為、硬化乾燥までの養生期間を十分に確保して下さい。

### ■外壁 2コートオールインワンプロセス(窯業系・金属系サイディングボードなどの塗替え)

工法	材料名	塗回数	塗布量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	希釈	塗装間隔 (20℃)	塗装用具
下地調整	旧塗膜で剥れ部分、膨れ部分等はワイヤーブラシ、皮スキ等のケレン具を用いて完全に除去する。またチョーキング部分、汚れ等は高圧洗浄機等で除去し、乾燥面にする。					
下塗	SPネオコートバインダー(共色)	1	0.15~0.18	塗料用シンナー A 0~10%	12時間以上7日以内	刷毛、ローラー、スプレー
上塗	SPネオセラミコート1000/遮熱	1	0.15~0.18	水道水 0~10%	4時間以上7日以内 最終養生24時間以上	刷毛、ローラー、スプレー

※素地劣化が進んだ窯業系サイディングボードは、SPネオコートバインダーを増し塗り下地補強を行って下さい。 ※発錆が著しい場合は、十分にケレンし、変性エポキシプライマーを塗布し、錆止め処理を行って下さい。

### ■外壁 微弾性フィラー仕様(モルタル下地:リシン、吹付タイルなどの塗替え)

工法	材料名	塗回数	塗布量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	希釈	塗装間隔 (20℃)	塗装用具
下地調整	旧塗膜で剥れ部分、膨れ部分等はワイヤーブラシ、皮スキ等のケレン具を用いて完全に除去。除去した部分は、同一模様い合わせ補修する。またチョーキング部分、汚れ等は高圧洗浄機等で除去し、乾燥面にする。					
下塗	微弾性フィラー・微弾性フィラーエポ	1	0.2~0.4	水道水 2~5%	4時間以上3日以内	ウールローラー 砂骨ローラー
			0.8~1.2	水道水 0~3%	16時間以上3日以内	
上塗	SPネオセラミコート1000/遮熱	2	0.15~0.18	水道水 0~10%	4時間以上7日以内 最終養生24時間以上	刷毛、ローラー、スプレー

※旧塗膜の劣化、素地劣化が顕著な場合、水性カチオンシーラーを増し塗り下地補強を行って下さい。

## スレート、セメント系屋根・金属屋根仕様 SPネオ無機ルーフコートII(弱溶剤)

### ■屋根 標準塗装仕様(新生瓦・スレート屋根・セメント瓦など)

工法	材料名	塗回数	塗布量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	希釈	塗装間隔 (20℃)	塗装用具
下地調整	旧塗膜で剥れ部分、膨れ部分等はワイヤーブラシ、皮スキ等のケレン具を用いて完全に除去する。またチョーキング部分、汚れ等は高圧洗浄機等で除去し、乾燥面にする。					
下塗	SPネオルーフバインダー(透明、白)	1~2	0.18~0.23	無希釈	4時間以上7日以内	刷毛、ローラー、スプレー
上塗	SPネオ無機ルーフコートII	2	0.15~0.18	塗料用シンナー A 0~20%	16時間以上7日以内 最終養生24時間以上	刷毛、ローラー、スプレー

※素地劣化が進んだ新生瓦、スレート屋根は、吸込みが止まるまでSPネオルーフバインダーの塗回数を増やして下さい。 ※セメント瓦は、SPネオルーフバインダーを2回以上塗布して下さい。

### ■屋根 金属面標準仕様(鋼板、トタン、鉄部などの塗替え)

工法	材料名	塗回数	塗布量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	希釈	塗装間隔 (20℃)	塗装用具
下地調整	錆や旧塗膜で剥れ部分、膨れ部分等は、ワイヤーブラシ、皮スキ等のケレン具を用いて完全に除去後、弱溶剤変性エポキシプライマーを補修塗りして下さい。またチョーキング部分、汚れ等は、高圧洗浄機で除去し、乾燥面にする。					
下塗	弱溶剤変性エポキシプライマー (錆止:赤錆、緑、白)	1	0.13~0.15	塗料用シンナー A 0~5%	4時間以上7日以内	刷毛、ローラー、スプレー
上塗	SPネオ無機ルーフコートII	2	0.12~0.15	塗料用シンナー A 0~20%	16時間以上7日以内 最終養生24時間以上	刷毛、ローラー、スプレー

## 無機有機ハイブリッド塗料が映し出す

『安心』『やすらぎ』で

大切な建造物を強く、長く、美しく。

### 施工上の注意事項・要点

- 塗工場の気温が5℃以下、湿度85%以上または換気が十分でなく結露が考えられる場合は、塗装を避けてください。外部の塗料で降雨の恐れがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- 飛散防止のため養生を行ってください。色相によっては降雨、結露により濡れ色になる場合がありますが、乾燥すると元に戻ります。塗膜性能上問題はありません。
- 塗装後、24時間以内に降雨、結露があると白化やシミが残る場合があります。
- 低温、高湿度、通風の無い場合には白化やシミが残る場合があります。乾燥条件によって塗膜に粘着感を感じることがありますが、時間とともに粘着感はなくなり、塗膜性能上問題はありません。
- 竝木、天端など、長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合があります。
- たえず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。

- 溶熱されやすい素材（軽量モルタル、ALC、窯業サイディングなど）や断熱構造が強い場合で、旧塗膜が弾性リシンや弾性スタッコ、複層弾性のアクリルトップなどの弾性塗料の場合、環境条件によって、水や温度の影響で塗膜が膨れていることがあります。そのまま塗装すると、更に膨れが拡大することがありますので、ケレンで除去するなどの入念な下地処理を行ってください。
- 蒸地の乾燥は十分に行ってください。（含水率10%以下、PH9以下）
- ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面、外部の素地において巣穴、段差などがある場合、合成樹脂エマルジョン入りセメント系下地調整材などで処理してください。
- 表面のごみ、ほこりなどは除去し、目ちがい、ジャンカ、コールドジョイントなどは合成樹脂エマルジョン入りセメントモルタルで平滑にしてください。
- 新設の押出成形セメント板、GAC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材として、浸透性のあるシーラーで処理してください。

- 新設仕様の場合は、溶剤形シーラーを塗装してください。
- 下地・旧塗膜がせいり弱な場合は、溶剤形シーラーをお使いください。
- 塗料は内容物が均一になるように攪拌してください。薄めすぎは厚べり・肉不足、仕上がりが不具合となりますので注意してください。
- はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合は、塗分量、表面肌が異なり、色相差が出ますので、はけ塗りの部分は、希釈を少なくして塗料してください。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃える様に仕上げてください。ローラー目により、色相が異なって見えることがあります。
- 下塗り材の弾性機能は、塗分量によって異なりますので、所定の塗分量を塗装してください。
- よごれ、さすなどにより補修塗料が必要な場合がありますので、使用塗料の控えは必ず取っておき、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装を行ってください。
- 各工程の塗装間隔は、所定の塗り重ね乾燥時間を厳守してください。

- シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので、行わないでください。やむを得ず行う場合は、適切な下塗り材処理を行ってから塗装してください。
- 建造物の構造、部位、塗装仕上げ形状、環境条件などの影響で、本来の低汚染機能が発現されない場合があります。
- 旧塗膜に発生した藻・かびは洗浄などで必ず除去し、清潔な面としてください。付着阻害を起こすおそれがあります。
- 既存塗膜のはく離箇所は、既存のパターンに合うように既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- 劣化した塩ビ樹脂鋼板の上の塗装は避けてください。
- 乾燥した塗膜に付いた汚れは、シンナーなどで拭かず、中性洗剤で洗浄してください。
- つや調整品は、被塗物の形状や素地の状態、膜厚や色相などにより、実際のつやと若干違って見える場合があります。見本版、またはあらかじめ試し塗りをして確認してください。

### 安全衛生上の注意事項

- 本来の用途以外に使用しないでください。
- 使用前に取扱説明書を理解して、取り扱ってください。
- 粉じん/ガス/蒸気/スプレーなどを吸入しないでください。
- 取扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
- 必要に応じて個人用保護具を使用してください。
- 飲み込んだ場合：気分が悪い時は、医師に連絡してください。口をすすいでください。

- 粉じん、蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診断を受けてください。
- 暴露した時、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。
- 緊急の洗浄剤が必要な場合、直ちに特別処置を実施する。
- 容器からこぼれた時には、砂などを散布した後処理してください。

- 施工して子供の手の届かないところに保管してください。
- 直射日光や水濡れは厳禁です。
- 塗料などの缶の積み重ねは3段までとってください。
- 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も60℃以上の温度に暴露しないでください。
- 内容物/容器を廃棄する時には、国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。

※上記の表示は一例です。色相などにより、容器的表示とは異なる場合があります。  
□詳細な内容、表示例以外の事項については、製品安全データシート（SDS）をご参照ください。  
□本商品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。



澤政興業株式会社

〒460-0024 本社：名古屋市中区正木2丁目13番8号  
TEL：052-331-6510 FAX：052-331-6561  
〒459-8007 南営業所：名古屋市中区大根山1丁目181番地  
TEL：052-621-9882 FAX：052-621-9873  
〒510-1323 四日市営業所：三重県三重郡菟野町小島字徳保362-3  
TEL：059-396-1872 FAX：396-2019  
<http://www.sawamasa.co.jp>

※本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。